

バトンを受けついで

六年菊組 赤堀 愛

「あー、お母さんに会いたいなあー。洗濯物をたたんでいた、お母さんが小さな言
でボソッと言いました。

お母さんのお母さん、つまり私のおばあちゃん
は、私が産まれる2日前に亡くなりました。
た。

その時お母さんは出産間近でした。
以前流産の経験もあるお母さんの体を、み

んなは心配して、おばあちゃんちゃんが亡くなった
事を知らせませんでした。お母さんは葬儀に
も出る事なく、出産して四ヶ月で里帰りをする
まで、亡くなった事は知らなかつたそうで
す。

そのため、お母さんは、「おばあちゃんに
会いたい」と言っているのです。
また、

「今の私を見たら、おばあちゃんちゃんはどんな風
に思うのかなあ。ちゃんとお母さんさんしている

ね。て言。てくれるかな？それとも、も。と
し。かりしなさい。て言われるかなあ？
と、言。たりもしています。

姓 娠 六 ヶ 月 の 検 し ん の 時、 お 母 さ ん が 青 森
に 住 ん で い る お ば あ ち ゃ ん に、 電 話 で、 お 腹
の 赤 ち ゃ ん が 女 の 子 だ と 伝 え る と、
「 わ あ、 私 と 同 じ 犬 年 だ し、 私 の 生 ま れ 変 わ
り だ。」 と 言。 た そ う で す。

お 母 さ ん は ど う し て そ ん な 不 吉 な 事 を 言 う
ん だ ろ、 夕 子 の 悪 い 冗 談 だ な と 思。 た け れ ど、

「 どこ か 具 合 悪 い の？ 」 と、 お ば あ ち ゃ ん に
聞 いた そ う で す。 す る と お ば あ ち ゃ ん は、
「 何 も。」 と 答 え た の で、 お 母 さ ん は 深 く 考
え な か。 た そ う で す。 き。 と、 あ の 時 か ら 具
合 が 悪 か。 た ん だ ろ う な。 早 く 病 気 に 気 が 付
い て あ げ れ ば よ か。 た と、 と て も く や ん で い
る み た い で す。

お 母 さ ん は 三 人 兄 弟 の 末。 子 で、 お。 と 母
親 が 大 好 き で、 す ぐ く 尊 敬 し て い た そ う な の
で、 時 々、 そ ん な 事 を 考 え る の だ と 思 い ま す。

だから、夏休みに帰省して、おばあちゃんのお墓参りをした時に、私から、お母さんの事を
おばあちゃんにたくさん伝えてあげようと思
います。

一時々天然で変な事を言ったり、やったりし
ますが、お母さんのお陰で、元気に楽しい毎
日を送っています。お母さんは、体調が悪く
ても、眠くても、私のために早起きをして毎
日ご飯を使ってくれたり、いろいろな事を手
伝ってくれたりしています。本当にすばらし

いお母さんだと思います。

お母さんはおばあちゃんを亡くした経験か
ら、人はいつどうなってしまうのかかわらな
いのだから、どんなことがあっても、人をう
らんだり、人からうらまれたりしないように
しなさい。もしけんかしても、すぐに仲直り
をするようにしなさい。と、いつも言ってい
ます。

お母さんがおばあちゃんと最後に話をした
のは、おばあちゃんが入院する前の日だっ

そうです。その時に、「自分に何があって、
絶対に帰。てきたらためだよ。ちゃんと出産
して、赤ちゃんが落ちついたら、会いにきて」
と言われたそうです。
最後だとわかっていたら、「産んでくれて
育ててくれてありがとう」って感謝の気持ち
を伝えたかったと言っていました。

私は、お母さんの言葉のように、いつも、
感謝の気持ちを忘れずに、人をうらんだり、
うらまれたりしないように、お母さんや家族、
友達や周りの人達を大切にしていきたいと思
います。